



GLOSSARY

A

- ABR** エリア境界ルータを参照してください。
- ARP** Address Resolution Protocol; アドレス解決プロトコル。ARP は既知の IPv4 アドレスに対応する MAC アドレスを検出します。
- AS** 自律システムを参照してください。
- ASBR** 自律システム境界ルータを参照してください。
- AVF** アクティブ バーチャル フォワーダ。特定のバーチャル MAC アドレスにトラフィックを転送するために選定された、GLBP グループ内のゲートウェイ。
- AVG** アクティブ バーチャル ゲートウェイ。アクティブ バーチャル ゲートウェイとして選定され、プロトコルの動作を担当する、GLBP グループ内の 1 つのバーチャル ゲートウェイ。

B

- BDR** バックアップ代表ルータ。マルチアクセス OSPF ネットワークにおいて、代表ルータで障害が発生した場合に、バックアップとして動作するように選定されたルータ。すべてのネイバーは、代表ルータと同様、バックアップ代表ルータ (BDR) とも隣接関係を形成します。
- BGP** ボーダー ゲートウェイ プロトコル。BGP はドメイン間またはエクステリア ゲートウェイ プロトコルです。
- BGP スピーカ** BGP 対応ルータ。
- BGP ピア** ローカル BGP スピーカと隣接関係が確立されている、リモート BGP スピーカ。

D

- DHCP** 動的ホスト制御プロトコル。
- Diffusing アップデート アルゴリズム** DUAL を参照してください。
- DNS クライアント** ドメイン ネーム システム クライアント。DNS サーバと通信し、ホスト名を IP アドレスに変換します。
- DR** 代表ルータ。マルチアクセス OSPF ネットワークにおいて、すべての隣接ネイバーに代わって LSA を送信するように選定されたルータ。すべてのネイバーは、代表ルータおよびバックアップ代表ルータとだけ隣接関係を確立します。
- DUAL** Diffusing アップデート アルゴリズム。宛先への最適ルートを選択するための EIGRP アルゴリズム。

E

- eBGP** 外部 BGP (ボーダー ゲートウェイ プロトコル)。外部システム間で動作します。
- EIGRP** Enhanced IGRP。Diffusing アップデート アルゴリズムを使用して高速コンバージェンスを実現し、帯域幅の使用率を最小限に抑える、シスコのルーティング プロトコルです。

F

- FIB** 転送情報ベース。パケットごとにレイヤ 3 フォワーディングを決定するために使用される、各モジュール上のフォワーディング テーブル。

G

- GLBP** Gateway Load Balancing Protocol。エンド ホストにハイ アベイラビリティ機能を提供する、シスコ独自のプロトコル。

H

- hello インターバル** OSPF または EIGRP ルータが hello パケットを送信する、設定可能な間隔。
- hello パケット** OSPF または IS-IS がネイバー検出のために使用する、特殊なメッセージ。確立されたネイバー間のキープ アライブ メッセージとしても機能します。
- HSRP**

I

- iBGP** 内部 BGP (ボーダー ゲートウェイ プロトコル)。自律システム内で動作します。
- ICMP**
- IETF RFC** インターネット技術特別調査委員会コメント要求。
- IGP** インテリア ゲートウェイ プロトコル。同じ自律システム内のルータ間で使用されます。
- IPv4** インターネット プロトコル バージョン 4。
- IPv6** インターネット プロトコル バージョン 6。
- IP トンネル**
- IS-IS** Intermediate System to Intermediate System。ISO インテリア ゲートウェイ プロトコル。

L

- LSA** リンクステート アドバタイズメント。リンクの動作状態、リンク コスト、およびその他の OSPF ネイバー情報を共有するための OSPF メッセージ。

M

- MD5 認証ダイジェスト** 認証鍵および元のメッセージに基づいて計算される、暗号構築物。メッセージとともに宛先に送信されます。宛先は送信側の正統性を判別し、送信中にメッセージが改ざんされていない保証を得られます。
- MTU** Maximum Transmission Unit (最大伝送ユニット)。ネットワーク リンクで分割しないで送信できる、最大パケット サイズ。

N

- NDP** Neighbor Discovery Protocol (近隣探索プロトコル)。IPv6 アドレスに関連付けられた MAC アドレスを検索するために、IPv6 で使用されるプロトコル。
- NSSA** Not-So-Stubby-Area。OSPF エリアにおいて、AS External LSA を制限します。

O

- OSPF** Open Shortest Path First。IETF リンクステート プロトコル。OSPFv2 は IPv4 を、OSPFv3 は IPv6 をサポートします。

R

- RIB** ルーティング情報ベース。直接接続ルート、スタティック ルート、およびダイナミック ユニキャスト ルーティング プロトコルから学習したルートからなる、ルーティング テーブルを維持します。
- Route Policy Manager** ルート マップおよびポリシーベース ルーティングを制御するプロセス。

S

- SPF アルゴリズム** 最短パス優先アルゴリズム。ネットワーク経由で特定の宛先までの最短ルートを判別するために、OSPF で使用されるダイクストラ アルゴリズム。
- SVI** スイッチ仮想インターフェイス。

U

- U6FIB** ユニキャスト IPv6 転送情報ベース。
- U6RIB** ユニキャスト IPv6 ルーティング情報ベース。すべてのルーティング プロトコルから情報を集め、各モジュールの転送情報ベースをアップデートする、ユニキャスト ルーティング テーブル。
- UFIB** ユニキャスト IPv4 転送情報ベース。
- URIB** ユニキャスト IPv4 ルーティング情報ベース。すべてのルーティング プロトコルから情報を集め、各モジュールの転送情報ベースをアップデートする、ユニキャスト ルーティング テーブル。

V

VDC	Virtual Device Context (仮想デバイス コンテキスト)。物理システムを安全で独立した論理システムに分割するために使用されます。
VRF	Virtual Routing and Forwarding (仮想ルーティングおよびフォワーディング)。システム内部で別個の独立したレイヤ 3 エンティティを作成するための方法。
VRRP	Virtual Router Redundancy Protocol (仮想ルータ冗長プロトコル)。

あ

アトリビュート	BGP UPDATE メッセージで送信される、ルートのプロパティ。これらのアトリビュートには、アドレスファミリーにバタイズされた宛先へのパスとともに、ベストパス選択プロセスを変更する、設定可能なオプションが含まれます。
アドレス ファミリ	ルーティングプロトコルがサポートする特定のネットワーク アドレッシングタイプ。IPv4 ユニキャスト、IPv4 マルチキャストなど。

い

インスタンス	独立した設定可能なエンティティ。通常はプロトコル。
--------	---------------------------

え

エリア	OSPF ドメイン内の独立したサブドメインを形成する、ルータおよびリンクからなる論理区分。LSA フラディングはエリア内に封じ込められます。
エリア境界ルータ	ある OSPF エリアを別の OSPF エリアに接続するルータ。

か

仮想化	物理エンティティを複数の独立した論理エンティティとして動作させる 1 つの方法。
管理ディスタンス	ルーティング情報源の信頼性に関する格付け。通常、値が大きいくほど、信頼性の格付けが下がります。

き

キーチェーン管理	A method of controlling authentication keys. 『Cisco NX-OS Security Configuration Guide』を参照してください。
キープアライブ	ルーティング ペア間の通信を確認して維持するために、ピア間で送信される特殊なメッセージ。

く

グレースフルリスタート	ルーティングプロトコルのリブート時に、ルータがデータ転送パスにとどまるようにする機能。
-------------	---

け	
ゲートウェイ	LAN からネットワークのその他の部分にレイヤ 3 トラフィックを転送するスイッチまたはルータ。
こ	
コンバージェンス	収束 を参照してください。
さ	
再配布	あるルーティング プロトコルが別のルーティング プロトコルからルート情報を受け入れ、ローカル 自律システムでそれをアドバタイズします。
し	
自律システム	単一のテクニカル アドミニストレーション エンティティによって制御されるネットワーク。
自律システム境界ルータ	OSPF 自律システムを外部の自律システムに接続するルータ。
収束	ネットワーク内のすべてのルータが同じルーティング情報を得るポイント
信頼性	各ネットワーク リンクに頼れるかどうか（通常は、ビット誤り率で表します）。
す	
スタティック ルート	手動で設定されたルート。
スタブエリア	AS External (type 5) LSA を認めない OSPF エリア。
スタブルータ	メイン ネットワークへの直接接続がなく、既知のリモート ルータを使用してメイン ネットワーク にルーティングされるルータ。
スプリット ホライズン	ルータが自身のルート アップデートを見ないように、ルートの学習元になったインターフェイスには、学習したルートをアドバタイズしません。
た	
帯域幅	リンクの使用可能なトラフィック容量。
代表ルータ	DR を参照してください。
ち	
遅延	システムから宛先にインターネットワークを介してパケットを転送するために必要な時間。

つ

通信コスト リンクを介してルーティングする運用コストの算定基準。

て

ディスタンス ベクトル 距離（宛先までのホップ数など）および方向（ネクストホップ ルータなど）によってルートを定義し、さらに直接接続されたネイバー ルータにブロードキャストします。

デッド インターバル その範囲内で OSPF ルータが OSPF ネイバーから hello パケットを受信しなければならない時間。デッド インターバルは通常、hello インターバルの倍数です。hello パケットを受信しなかった場合、ネイバーの隣接関係は削除されます。

デフォルト ゲートウェイ あらゆるルーティング不能パケットの送信先となるルータ。ラスト リゾート ルータともいいます。

ね

ネクスト ホップ 宛先アドレスまでの間で、パケットの次の送信先になるルータ。

ネットワーク レイヤ到達可能性情報 BGP network layer reachability information (NRLI)。アドバタイズ側 BGP ピアから到達可能な、ネットワーク IP アドレスおよびネットワークに対応するネットワーク マスクのリストが含まれます。

は

ハイ アベイラビリティ コンポーネントで障害が発生したときに、システムまたはコンポーネントがネットワークの停止を制限または回避する能力。

パス長 送信元から宛先までのルーティングにおいて、パケットが経験するすべてのリンク コストおよびホップ カウントの合計。

バックアップ代表ルータ [BDR](#) を参照してください。

ふ

フィージブル サクセッサ 現在のフィージブル ディスタンスより短い宛先までの距離をアドバタイズした、EIGRP のネイバー。

フィージブル ディスタンス EIGRP で計算された、ネットワークの宛先までの最短距離。フィージブル ディスタンスは、ネイバーがアドバタイズした距離に、そのネイバーへのリンク コストを加えた合計です。

負荷 ルータなどのネットワーク リソースが使用中になっている程度。

ほ

ホールドタイム	BGP において、UPDATE または KEEPALIVE メッセージの間隔として許容される最大時間限度。この時間を超えると、BGP ピア間の TCP 接続が終了します。 EIGRP では、EIGRP Hello メッセージの間隔として許容される最大時間。この時間を超えると、ネイバーが到達不能として宣言されます。
ポイズンリバースを指定したスプリットホライズン	ルータが自身のルートアップデートを見ないように、インターフェイスから学習したルートを到達不能として設定し、ルートの学習元になったインターフェイスには、学習したルートをアドバタイズしません。
ホップカウント	ルート上で経由できるルータの数。RIP で使用されます。
ポリシーベースルーティング	パケットに選択されたルートをルートマップを使用して変更する方式。

め

メッセージダイジェスト	共有パスワードを使用するメッセージに適用される、一方向ハッシュ。メッセージを認証し、メッセージが送信中に変更されていないことを保証するために、メッセージに付加されます。
メトリック	パス帯域幅など、宛先への最適パスを決定するためにルーティングアルゴリズムが使用する、標準の測定単位。

り

リライアブルトランスポートプロトコル	すべてのネイバーに EIGRP パケットを保証付きで順序正しく配信する役目を担います。
リンクコスト	OSPF インターフェイス上で設定された、最短パス優先計算に含まれる任意の値。
リンクステート	ネイバー ルータとのリンク、リンク コストに関する情報の共有。
リンクステートアドバタイズメント	LSA を参照してください。
リンクステートデータベース	受信したすべての LSA に関する OSPF データベース。OSPF ではこのデータベースを使用して、ネットワーク上の各宛先に最適なパスを計算します。
リンクステートリフレッシュ	すべての OSPF ルータが同じ情報を持っていることを保証するために、OSPF が LSA をネットワークにフラッディングする時間。
隣接関係	コンフィギュレーションに互換性があり、リンクステートデータベースが同期している 2 つの OSPF ルータ。

る

- ルータ ID** ルーティング プロトコルで使用される一意の識別情報。手動で設定しなかった場合は、ルーティング プロトコルがシステムに設定されている最大の IP アドレスを選択します。
- ルーティング情報ベース** [RIB](#) を参照してください。
- ルート集約** ルート テーブル内の関連した一連の固有ルートを汎用性の高いルートに置き換えるプロセス。
- ルート マップ** 一致基準に基づいてルートまたはパケットをマッピングし、任意で設定基準に基づいてルートまたはパケットを変更するために使用される構築物。ルート再配布およびポリシー ベース ルーティングで使用されます。

ろ

- ロード バランシング** 所定の宛先に複数のパスを使用してネットワーク トラフィックを配信すること。